

気胸でドレナージ療法を受けられる患者様へ

気胸バス（ドレナージ療法）【30003-01】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No1

日付	/	/	/	/ ~ /	/
入院日数	入院1日目	入院2日目	入院3日目	入院4～7日目	入院8日目・退院
目標	□鎮痛剤の使用により、痛みが落ち着く □呼吸状態が安定している □治療内容が理解できる □胸のレントゲン結果が改善している				
内服注射	□胸の管の痛みに応じて、1日3回内服する鎮痛剤と胃薬が処方されます 薬を飲んで痛みが辛いときはお知らせください □点滴があります	4ツリ □点滴の予定がなければ点滴の針を抜きます	□痛みに応じて鎮痛剤を使用します		
処置検査	□腕に点滴の針を入れます □胸にたまった空気を抜く管を胸に入れます □退院まで毎朝医師の回診があります □必要であれば、呼吸状態が安定するまで酸素が投与されます		□回診で傷の消毒・ガーゼ交換をします	□胸の管から空気がもれていなければ回診で管を抜きます	
排泄	□胸の管を挿入後、採血・胸のレントゲンがあります	レントゲン	□胸のレントゲンがあります		
安全	□機械を押しながらトイレ歩行が可能です □退院まで毎朝、前日6時から当日6時までの尿と便の回数を聞きます	WC		退院基準：気胸の症状の所見がない	
測定	□身長・体重を測ります □毎日、体温・血圧・脈拍・酸素の値を測ります				
清潔	□胸の管が抜けるまではシャワーに入れないため、タオルで身体を拭きます □自分で動くことができるようになるまで洗面・歯磨きのお手伝いをします			□洗髪は希望に応じて行います □胸の管が抜けたらシャワー浴ができます	
説明	□入院生活についてオリエンテーションをします □刃物などの危険物がある場合、回収させていただきます		□状況に応じて、医師から治療方針について説明があります		□退院後の生活の注意点について説明をします（禁煙・傷の管理・症状出現時の対応、受診について）

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります